



まらきら

第54号

今、ひとりひとりが...

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「まらきら」と輝いていける21世紀でありたい...



11月12日~25日は

「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です!

「作ろう!知ろう!パープルリボン!」にご参加ください



「パープルリボン」は女性に対する暴力根絶のシンボルです。
暴力根絶の願いを込めて、ハイトピア伊賀 1 階のボードに紫色のリボンを貼って、みんなで大きな“パープルリボン”を完成させましょう。

「DV（配偶者等からの暴力）は、ごく一部の人が受けている問題だ」と考えている方はいらっしゃいませんか。平成29年の内閣府の調査によると、女性の約3人に1人がDVを受けたことがあると答えています。そして、被害を受けた女性のうち約7人に1人がその暴力によって「命の危機を感じたことがある」と答えています。皆さんの周りにも、悩んでいる方がたくさんいることを知ってください。もし、DVの相談を受けたときには、まずは相手の話をありのままに受け止めてください。「あなたは悪くない、自分を責めないで」と伝えてください。そして、下記の相談窓口への相談を勧めていただきたいです。相談内容を了承なしに第三者に伝えたり、被害者を責めたり、自分の意見を押し付けたり、相談内容を加害者に確認するようなことは、絶対にしてはいけません。

相談機関	電話番号	受付時間(年末年始除く)
伊賀市役所こども未来課 (女性相談)	22-9609	月～金 9:00～16:00 (祝日除く)
三重県女性相談所 (三重県配偶者暴力相談支援センター)	059-231-5600	月・水・金 9:00～17:00 火・木 9:00～20:00
三重県男女共同参画センター 「フレンテみえ」	059-233-1133	火～日 9:00～12:00 火・金・土・日 13:00～15:30 木 17:00～19:00

編集・発行

伊賀市人権生活環境部人権政策課
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地
Tel.(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666

(令和元年 11 月 15 日発行)

編集

伊賀市男女共同参画センター情報紙「まらきら」
編集スタッフ 岡 久美子・竹山 佐代子
的場 裕子・三山 佳代子

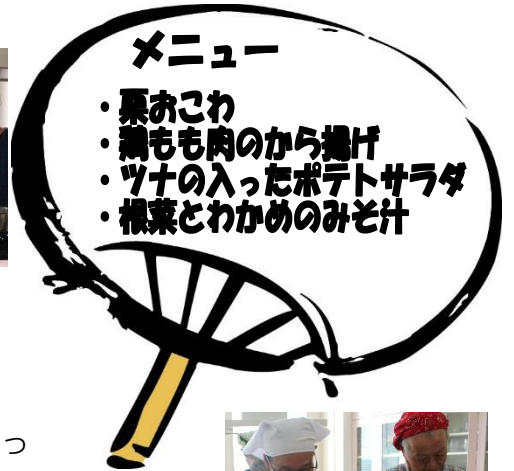


あとの料理教室

10月5日（土）、料理初心者の男性を対象にした料理教室を開催しました。今回は「男がつくる簡単祭り膳」ということで、大切な人と楽しい祭りの夜を過ごせるような料理に挑戦していただきました。



講師
松永啓子さん



参加者からは“みんなが協力的でよかった”
“おいしい料理ができ、みんなで食べて楽しかった”等の感想をいただきました。
今回の体験をきっかけに、家でもキッチンに立つ機会を増やして、積極的に家事に参画してほしいと思います。



女性のための ストレス対処セミナー

10月8日（火）、女性のためのストレス対処セミナーを開催しました。「ストレスに効くセルフケア～健康で働き続けるために～」と題し、健康で自分らしく働き続けるために、ストレスとの上手な付き合い方や対処法を学びました。

ストレスは女性を取り巻く環境の変化にも大きく関わっています。かつての更年期は人生の終わりに来るものでしたが、今は人生の折り返し地点に来ます。仕事の責任が大きく、家事、介護、出産年齢によっては育児の負担も大きい時期でもあります。更年期を元気に過ごすためには、発想の転換（加齢をネガティブにとらえない）が必要で、①若い人と張り合わない ②頑張りすぎない、抱え込まない。③我慢しないで医者に行く。また、量より質の良い睡眠が必要だということも話されました。呼吸のマインドフルネスも体験していただき、参加者からは、リラックスできた、自分ともっと上手に付き合っていきたい等の感想をいただきました。



○JK ビジネス

今、若年層を対象とした性的被害が増えています。その中の1つに「JK ビジネス」が挙げられます。JKとは「女子高生」の略であり、児童の性を売り物にする営業のことをいいます。貧困や、学校・家庭で孤立し居場所がないなど、様々な事情で少女たちがJK ビジネスにとりこまれ、「性の商品」として利用されています。

主な被害事例として、SNSで「学校帰り・週1回でもOK」「お客様の隣でおしゃべりするだけ」「男性スタッフ常駐なので安心」というアルバイト広告を見つけ、面接に行くと店長に服を脱ぐように言われ、写真を撮られ性行為を強要された。「アイドルに興味のある方大歓迎、カフェで働きながらアイドルを目指しませんか!」と書かれたチラシを渡された。楽しそ

うなのでやってみると、撮影会では水着や露出度の高い服装で、胸や下半身を強調するポーズをとられ、その写真がSNSで出回った、等の被害が起きています。一見普通のアルバイトに見える場合でも、性的な被害につながる場合があります。もし、そういった被害にあった場合は、まずは相談窓口にご相談してください。

※ 今、悩みを抱えている方へ

あなたが抱える問題は、一人で解決することはとても難しいです。あなたの心と身体を守るためにも、どのように親や学校に伝えるかを含め、相談員とともに、あなたの安心・安全が守られる方法を考えていきましょう。

三重県警察本部 059-222-0110【24時間】

女性の人権ホットライン 0570-070-810

【平日午前8時30分～午後5時15分】

(最寄りの法務局・地方法務局につながります。)

伊賀市男女共同参画ネットワーク会議
(いきいきネット) 会員紹介



「将来の阿波(あわ)地域を展望(てんぼう)する」
という女性グループの愛称名です

特定非営利活動法人 あわてんぼう

平成25年9月、伊賀市での公共施設(伊賀市東保育園跡地)の有効活用を目的に、「食活動の拠点」として、農家レストランNPO法人あわてんぼうを設立しました。

少子高齢化、獣害で苦しみ限界集落寸前に追い込まれていた阿波地域住民自治協議会の女性委員達が、地域にいち早く危機感を持ち、解体寸前の誰もが慣れ親しんだ閉園第1号になる東保育園の跡地利用に取り組みました。

地域の高齢者さんへのお弁当給食と配食事業・集客事業の一環として、季節の旬食材を使ったレストランバイキング事業(いがぶらは6年連続参加、好評を得ています)、又地域イベントの昼食協賛(手打そば提供等)事業に取り組んでいます。

最近は毎日メニューが変わる、手作り感あふれるお弁当数が増えています。設立理念と事業性の是非に苦しみながらも、7年目を迎えて地域のお弁当屋さんとして16名の仲間が毎日汗をかいています。

孫育て、親の介護、家族を抱えて、女性グループならではの問題、事業継続していくための悪銭苦闘の毎日ですが、お弁当受取時の「ありがとう!」の一言が仲間の明日への励みになっています。「あわてんぼう」のお弁当を心待ちして下さる方のために、想いを込めてのお弁当作りと一声をかけた配食活動にこれからも仲間一同頑張りたいと思っています。

